

とちの実 支援センターたより

2025年 3月号 NO.187

今月で今年度の支援センターたよりはおしまいになります。今まで閲覧して下さった方ありがとうございました。1年間ありがとうございました。4月になっても遊びに来てくださいね。

今月はリピートがあった、ペットボトルでおもちゃ作りをしたいと思います。前回はせんたくのりを使い、動きが楽しかったと好評でした。ぜひ、遊びに来てください。

＜ペットボトルでおもちゃ作り・お休みのお知らせ＞

今月はリピートがあったペットボトルでおもちゃ作りをしたいと思います。前回利用できなかった方、予約制にはなりますが、一緒に作りましょう。

日 時:3月13日(木) ペットボトルでおもちゃ作り 時 間:10時00分～11時00分まで

*** 3組の予約制になります。定員になり次第終了になります。電話でも承ります。**

*** 新年度準備のため、3月26日から4月4日までお休みになります。**

＜豊かな言葉を育てよう！0才～2歳児＞

子どもは年齢によって段階的に言葉を獲得していきますが、そのためには、大人の関りが必要不可欠です。子どもはどのように言葉を学んでいくのか、そしてその言葉が、より豊に育っていくには、大人のどのような関わりが大切になっていくのでしょうか？

★0歳児の頃「産声～喃語～意味のある言葉」

赤ちゃんは話さないと思っている「ブー」「アーアー」など、たくさんの言葉を発しています。赤ちゃんの言葉に大人が声や表情で応えるのは、とても大切です。

★1歳児の頃「一言で伝えようとする～二語文」

意味のある言葉(パパ、ママなど)が出始め、(ワンワン キタ)のような二語文も出てきます。子どもは言葉を教えられる存在ではなく、自分で発見し、自分で伝えていくというコミュニケーションの主人公なのです。大人は、子どもの発見に共感し、言葉をそえていきます。(参考文書:発達の扉より)

★2歳児の頃「言葉が急激に増える」

「言葉の爆発期」と言われる2歳児になると、二語文、三語文と言葉が文字通りに爆発的に増加し、「手が痛い」などと伝えることができるようになります。(参考文献:子どもとつくる2歳児保育より)

＜離乳食相談会をしました＞

1月28日、午後から離乳食相談会をしました。3組の利用者の方がおり、後期食の離乳食を見本に、量や固さを一緒に確認しました。お母さんの中ではもう少し柔らかくして食べさせていたなどの話があり、離乳食に対して本で調べていて知識が豊富でした。実際に見て見ることでよりお家での離乳食作りが楽しくなったり、参考になっていければと思います。



＜大きくなったかな＞

身体測定カードを(1年間)準備しています。☆ 気軽に、声をかけてくださいね。

支援センター利用時間:午前9時30分～11時30分 午後13時00分～16時00分

「利用にあたってのお願い」

- 希望の方は園庭でも遊べるので、着替え、タオル等をご持参ください。
- 利用人数把握のため、可能な方は事前に電話連絡をお願いします。
- マスクの着用、手指の消毒は、個人の判断でお願いしています。
- 園内での飲食は、ご遠慮ください。
- 風邪症状のある方は利用を控えてください。

とちの実保育園 支援センター 山形市南四番町3-11 TEL023-666-8899

